市民部市民活躍・男女共同参画課

富士市交流プラザ指定管理者候補者の審査結果について

富士市交流プラザの設置目的を十分に理解し、公正かつ適正で、より効果的・効率的に管理運営を行うことができる指定管理者について、審査項目に基づき厳正に審査した結果、次のとおり候補者を選定しました。

１　施設の概要

施設の名称	富士市交流プラザ
設置目的	市民にコミュニティ活動、文化活動等の場を提供し、市民の交流を促進するとともに、地域の振興に資することを目的とする。
所在地	富士市富士町２０番１号
施設概要	⑴　敷地面積　９，２８８．７１㎡ ⑵　建築面積　本体　３，０２７．７７㎡　駐輪場　５８．６９㎡ ⑶　延べ床面積　本体　５，７２１．５０㎡　駐輪場　５８．６９㎡ ⑷　構　　造　鉄筋コンクリート造　一部鉄骨造 ⑸　規　　模　地上３階建
施設構成	⑴　富士市交流センター ⑵　富士市国際交流ラウンジ（運営業務は含まない。） ⑶　富士市立西図書館（運営業務は含まない。） ⑷　平垣公園 ⑸　富士市交流プラザ駐車場
竣工年月日	平成１９年１２月２７日（開館　平成２０年４月４日）

２　指定管理者候補者の選定方法

公募によることとし、指定管理者となる団体の妥当性を判断するため、外部有識者等からなる「富士市市民交流施設指定管理者選定評価委員会」を開催し、同委員会において、書類審査、プレゼンテーション審査及び質疑応答により、総合的に評価・選定を行いました。

３　指定管理者選定評価委員会による審査

委員会の開催	第１回　選定評価委員会　令和８年７月２２日（水） 第２回　選定評価委員会　令和８年９月１５日（火）
委員構成	委員長　山本　早苗（常葉大学社会環境学部教授） 委　員　水本　吉昭（富士商工会議所特任参事） 委　員　佐野　勝（富士市町内会連合会副会長） 委　員　篠原　丈治（公認会計士） 委　員　武田　信之（清水銀行理事富士支店長）

<table>
<tr><td>申　請　者</td><td>株式会社コンベンションリンケージ
日本環境マネジメント株式会社
公益財団法人富士市文化振興財団
特定非営利活動法人東海道・吉原宿</td></tr>
<tr><td>選定に当たって重視する事項</td><td>市民にコミュニティ活動、文化活動等の場を提供し、市民の交流やふれあいを促進するとともに、地域の振興に資するという施設の設置目的を十分に理解し、公正かつ適正な管理運営を効果的、効率的に行なうことができること。</td></tr>
<tr><td>指定管理者に求めるレベル</td><td>・指定管理に係る基本方針として、施設の設置目的や特性、課題を踏まえ、指定管理者として実現を目指す目標と、その達成に向けた具体的な方針を有していること。また、中心市街地の賑わい創出に向け、富士駅北口駅前公益施設、まちづくりセンター、商店街等との連携方法や役割を明確にし、これを実行するための関係構築力や体制を有していること。
・運営管理業務に関することとして、利用者サービスの向上、利用者意見の反映、利用者拡大及び広報・ＰＲについて、目指す成果と具体的な方策を有していること。また、施設の設置目的に沿い、多様な人の参加や交流につながる自主事業を提案し、実施に必要な人材や経験、協力体制を有していること。
・維持管理業務に関することとして、施設の衛生管理、保守点検、修繕等を適切に実施する方法及び体制を有していること。また、事故防止や発災時の利用者の安全確保について、具体的な対応方針と、それを実行する人員・連絡体制を有していること。
・収支に関することとして、事業運営の目標や内容と整合した実現可能な収支計画を有していること。また、サービス水準や安全性に配慮した経費節減策、利用料金・自主事業収入の確保方策及び施設利用料の減免に関する適切な考え方を有していること。
・業務の実施体制に関することとして、適切な管理運営に必要な組織、人員及び職員育成の方針を有していること。また、自然災害、感染症その他のリスクについて、予防、発生時の対応及び業務継続の方策を有し、実行できる体制を備えていること。</td></tr>
<tr><td>審査項目及び配点</td><td>上記「重視する事項」及び「指定管理者に求めるレベル」の充足度を総合的に評価するため、以下のとおり審査項目及び配点を設定しました。

<table>
<tr><th>大項目</th><th>審査項目</th><th>配点</th></tr>
<tr><td rowspan="3">指定管理に係る基本方針
（配点　２０点）</td><td>事業への参加動機、意欲</td><td>５点</td></tr>
<tr><td>施設の意義や目的を踏まえた指定管理の取組方針</td><td>１０点</td></tr>
<tr><td>指定管理期間における目標及び達成に向けた考え方</td><td>５点</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

審査項目及び配点	運営管理業務に関すること（配点 ２５点）	基本的な運営内容	５点
		利用者サービスの向上策	５点
		営業、ＰＲ活動の方策	７．５点
		自主事業に係る提案事項	７．５点
	維持管理業務に関すること（配点 １７．５点）	施設の衛生管理の実施方法	５点
		施設の保守点検、維持修繕の実施方法	７．５点
		利用者の安全確保策	５点
	収支に関すること（配点 １７．５点）	収支について	７．５点
		利用料金、自主事業による収入について	５点
		指定管理料について	５点
	業務の実施体制に関すること（配点 ２０点）	適切な管理運営のための組織体系及び人員体制	５点
		人材育成の考え方	５点
		リスクマネジメントの考え方	７．５点
		財政的な能力について	２．５点
	合　　計		１００点

審査結果

1　最終的な審査結果

応募者４者の審査を実施し、合計得点が評価基準点（６０点）を上回り、最高得点を得た公益財団法人富士市文化振興財団を、指定管理者候補者として決定しました。

2　項目ごとの評価

項目ごとに評価点を設定し、採点を行いました。

指定管理者候補者に選定された事業者に対する評価の概要は次のとおりです。

⑴　指定管理に係る基本方針について（配点２０点中１５点）

・ロゼシアターの管理運営実績に基づく地域からの信頼と、公共施設の運営に関する知識・経験・意欲及びロゼシアターとの連携を交流プラザの事業展開や情報共有に生かし、施設の設置目的に沿った運営を目指す方針が高い評価を受けました。

・交流プラザの設置目的を踏まえ、地域に密着した具体的な取組方針が示されており、求めるレベルを満たしているとの評価を受けました。

・地域の中学校・高等学校や近隣の学生との連携が、世代間交流と施設利用の促進につながる取組として、求めるレベルを満たしているとの評価を受けました。

・商店街、まちづくりセンター、富士駅北口周辺の公益施設等との連携により、まちへ回遊する仕組みを作ることで、中心市街地のにぎわい創出への姿勢が求めるレベルを満たしているとの評価を

審　査　結　果	受けました。
	⑵　運営管理業務に関することについて（配点２５点中１７．８点） ・交流プラザとロゼシアターの２館連携による情報発信や事業の相互紹介を進めるとともに、利用者の属性・関心に応じて広報対象を明確にした情報発信を行い、利用者サービスと施設利用の向上につなげる提案が、求めるレベルを満たしているとの評価を受けました。 ・市民活動マッチングなどにより、市民の活動ニーズと活動の場をつなぎ、交流プラザの利用促進につなげる提案が求めるレベルを満たしているとの評価を受けました。 ・富士市教育委員会等と連携した中学校部活動、特に文化部活動への支援が、利用者の拡大に加え、若年層の文化活動や世代間交流の活性化に資する内容となっており、求めるレベルを満たしているとの評価を受けました。 ・商店街や中心市街地の地域行事、まちなかの各施設との既存の関係性を生かした連携が提案されており、実現可能性が高いことが求めるレベルを満たしているとの評価を受けました。
	⑶　維持管理業務に関することについて（配点１７.５点中１１．２点） ・ロゼシアターにおける施設管理の実績を有しており、同施設で培った維持管理の知識及び経験を交流プラザに活用することが求めるレベルを満たしているとの評価を受けました。 ・交流プラザの維持管理に当たり、市が実施する大規模修繕との役割分担について理解が示されている点が求めるレベルを満たしているとの評価を受けました。 ・富士市の地域資源を活用し、紙資源、ヒノキ及び地元産茶葉等を取り入れる考え方について、環境配慮及び地域活性化の観点から求めるレベルを満たしているとの評価を受けました。 ・発災時・緊急時に備えて「危機対応マニュアル」を策定し、利用者の安全を確保する体制を整えている点について、求めるレベルを満たしているとの評価を受けました。
	⑷　収支に関することについて（配点１７.５点中１０．４点） ・事業運営に係る収支計画は堅実であり、指定管理業務を安定的に実施しようとする姿勢が求めるレベルを満たしているとの評価を受けました。 ・公益財団法人として、収支均衡を意識した事業運営が行われており、過度な利益を求めるのではなく、事業の継続性及び市民サービスの確保を重視している点が求めるレベルを満たしているとの評価を受けました。 ・余剰金を地域に還元することを基本としており、収支上の余剰を市民サービスや地域振興に活用しようとする姿勢が求めるレベル

審　査　結　果	を満たしているとの評価を受けました。
	⑸　業務の実施体制に関することについて（配点２０点中１３点） ・施設運営・維持管理に必要な資格、知識及び経験を有する専門人材を適切に配置し、ロゼシアターとの人員の相互活用により、繁忙期や専門業務にも柔軟かつ効果的に対応する計画となっており、求めるレベルを満たしているとの評価を受けました。 ・専門人材育成プログラムや市の職員研修への参加を通じて、職員の専門性・接遇能力を高めるとともに、法令遵守、個人情報保護、危機管理などに関する資質向上を図る考え方が示されており、求めるレベルを満たしているとの評価を受けました。 ・ＰＤＣＡサイクルに基づき、利用者と職員をさまざまなリスクから守る管理体制を構築していく点について、求めるレベルを満たしているとの評価を受けました。
評　　価　　点	６７．４０点